

家族・友人への写真・動画・つぶやき公開のすすめ

「公開」と聞くと「そんな怖いこと」と拒否反応の方が多いたと思いますが、最近の公開には『特定の人にしか見せない公開』があり、実質的には非公開に近く他の人に見られる心配なく安心して使えるものが殆どです。

私の場合、子供達が友人との交流で使っていたミクシー(Mixi)に登録して、子供達と友人になることで子供達の記事(写真付きが多い)を見ることが出来るようになり、離れていても彼らの行動が分かるのは有り難いものです。そして、気に入った記事には「イイネ！」をポチット押して私が見たことの足跡が分かるようにしています。我が家でのチョットしたニュースはこちらから日記もしくはつぶやきとしてアップし、子供からの「イイネ！」を見て安堵するという状態です。

盆正月や家族旅行の写真等はスライドショー動画にしてYouTubeに「限定公開」でアップ。URLをメールで連絡して動画を見てもらっています。スマホでも見ることが出来ますから親戚にも見せられると好評です。

このようにFacebookの日本版であるMixiやYouTubeを使っていますが、一般的には多くの人とのつながりもしくは公開が主体であるツールを、その中身を他の人に見られることはなく「家族だけの交信」ツールとして重宝しています。写真公開はYahoo!ボックスを使うことが多く、これは見せるための公開と云うよりはむしろ「伝送手段」として使っていることになります。

FacebookやMixiは見た人もコメントやイイネ！と云った形で参加出来る「双方向の公開」と云うことが出来、Yahoo!ボックスやPicasaウェブアルバムは見た人は見るだけでその中に参加出来ない「一方通行の公開」と云えます。現在見ていただいているこの資料は私からの一方通行の公開になり、HPぷらざふれんどの中の掲示板やit-futabaのメールは登録者全員の間で受発信出来ますから双方向の公開と云えます。

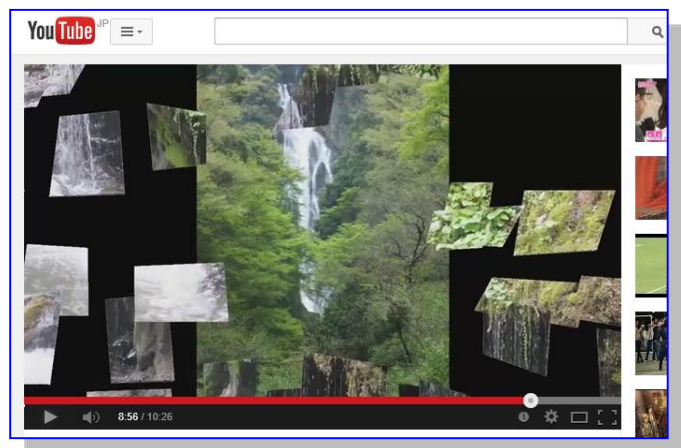
大量の写真を見せるのにFacebookやMixiでは書く側も見る側も大変ですから、それには一括処理出来るPicasaウェブアルバムなどのアルバムサイトが適しており、写真伝送なら圧縮ファイルにしてYahoo!ボックスが簡単であり、画像を見せるには当然YouTubeが一番使いやすく見る側も簡単でしょう。

このように、それぞれ特徴がありますし、なんと言っても大抵は無料で利用出来ますから、紙やメールや電話だけではなくインターネットならではの便利なツールを上手に利用して人と人とのコミュニケーションを活性化したいですね。

14:25 全員戻ってきている。雨が降ったために乾いているねぐらを捜すことが難しかったのか？ それに、まだ親から餌をもらっている。産毛が生え変えきれていないから、まだ早い巣立ちとは思っていたので、本当の巣立ちは数日がかもしない。

コメント

イイネ! (2) 葉苑(しおん) しげともん



1. 一方通行の公開の場

名称にはそのサイトへのリンクを貼ってますので詳細はそちらを見て下さい。

名 称	写真	動画	文書	限定公開	指定公開	容量
Yahoo!ボックス	○	*1	○	○		5GB
YouTube		○		○	○	
PicasaWeb アルバム	○			○		2GB
フォト蔵 *2	○			○	○	3GB
カメラメーカー各社アルバム	○			○		
OneDrive	○	○	○	○		7GB
30days Album	○	(○)		○		2GB
楽天フォトブック	○			○		5GB

*1：動画アップは可能であるが、見るにはダウンロード必要

*2：SNS の機能もあるので双方向公開でもある。写真に腕の覚えがある人が多く集まるサイト。

*：YouTube と PicasaAlbum は Google の一つのアカウントで利用出来る利点がある。PicasaAlbum は講座で使用した Picasa3 から簡単にアップ可能。YouTube,PicasaAlbum 共に公開 URL をブログ等に記入しリンクとして見てもらえる使い方が出来る。

*：YouTube はアップ時点では公開設定選択がなく全公開でアップされ、その後に限定公開や指定公開に切り替える操作手順になっているので注意が必要です。

*：Yahoo!ボックス、OneDrive はどのようなファイルでもアップ出来ることから、クラウドのバックアップ先としても使えるので上手に利用したいものである。

*：30daysAlbum は 30 日限定のオンラインアルバムとフォトストレージがあり、オンラインアルバムは写真だけが対象で、合い言葉を知っている人だけが見られるといった「ネットに載せる不安解消」が売りになっている。

2. 双方向公開の場

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の代表とされる Facebook ですが、FaceBook 日本上陸(2010 年)以前から国内にあるのが Mixi です。実名登録を前提として何らかの繋がりを糸口として人との交流を図ることを前提とした Facebook に対して、Mixi は招待が無ければ登録出来ない仕組みから出発したことからニックネーム登録が主体であるなど、現在でも違い(特徴)がありますから良く調べた上で使い方に合ったほうを選ぶことが望ましい。

この資料のタイトルが「家族・友人への公開のすすめ」ですから「全公開・友人の友人への公開、そして、未知もしくは過去の繋がりを糸口とする交流」については説明しません。必要な方はそれぞれのサイトで調べて下さい。

Facebook と Mixi の違い（あくまでも個人見解です）

	Facebook	Mixi
①登録	制約なし	携帯アドレス必須
②氏名	実名（規約。無視可能だが）	ニックネーム主体
③写真	自分の写真（同上）	イメージ画像主体
④職歴学歴など	登録を行い非表示にすることは出来るが、大半の人が表示	殆どの人が非表示
⑤友達検索	出身地・職歴・学歴などをキーとする深探り可能	シンプル
⑥友達候補通知	トップ頁でもメールでも登録情報を基にした「知り合いかも？」を表示。友達の友達も。	表示なし
⑦友達承認	必要	必要
⑧投稿連絡	友人が記事を書いた知らせメールあり	同左
⑨写真添付	記事写真添付可	同左
⑩携帯スマホからの投稿	可能	可能
⑪記事へのコメント	可能	可能
⑫記事へのイイネ！ボタン	あり	あり
⑬カレンダー	なし	自分と友人の予定を表示可。行事参加投票機能あり。
⑭知らない人と友達になるケース	稀だと云われている。学校とか故郷とか企業とか何らかの繋がりをベースとして友達になる。	多いと云われる。コミュニティからの友人申請があって友達になる。
⑮仕事に使う人	多いと云われている。名刺代わりとも。	少ない。ニックネームでは通用しない。
⑯実名での検索	可能	出来ない
⑰友人一人だけへの連絡	出来ない	メッセージで可能
⑱複数フォト単独アップ	出来ない	フォトで可能
⑲アルバム作成と公開	出来ない	アルバムで可能

似ていると言われている Facebook と Mixi ですが、こうやって比較していみると大きな違いがあります。幼友達を捜すとか同窓生を捜すとなると Facebook となりますが既にメンバーの決まっている友人・家族もしくはグループで使うなら Mixi のほうが機能的にも便利です。なんと言っても最大の違いは「実名・自身写真・実履歴」ではないでしょうか。会って確認出来ない状態ではこれが唯一の頼りになります（Facebook でのニックネーム登録は誰も相手にしません）。Mixi のニックネーム&イメージ画像は招待制度から発展したことにあるよう「最初から相手が分かっている」だから実名は必要ないことにあります。

今、流行の LINE にはスタンプ機能があり、これは第三の言語と云われているようですがその原型は Facebook&Mixi の「いいね！」ボタンだと思います。文章を一切記入することなく「ポッチ」とするだけで意思表示・参加表示出来る機能は忙しい人に、ものぐさ人間にピッタリです。

パソコンを高機能ワープロとしてだけに使うのではなく、インターネットに接続して最大の利点である人と人とのコミュニケーションに Facebook や Mixi を活用してみましよう！

[Facebook](#) も [Mixi](#) も登録は難しくありません。それぞれの文字をクリックするとログイン画面に繋がりますから、やってみて下さい。